

2022年度インターネット基盤整備基金資産運用状況の報告

資産運用規程第4条の定めに従い、「2022年度インターネット基盤整備基金資産運用状況報告」を行う

(1) 運用実績 (単位百万円、数値毎に小数点以下第2位・万円の位を四捨五入)

	2021年度実績	2022年度予算	2022年度実績	備考
運用収入(a)	20.1	18.9	26.4	円安により外貨建債券からの収入増
償還損益(b)	0	0	0	為替要因 +33.4百万円
評価損益(c)	6.3	0	6.9	価格要因 ▲26.5百万円
トータル収支(d)	26.3	18.9	33.3	
期首残高(e)	1,243.8	1,250.1	1,250.1	
期末残高(f)	1,250.1	1,250.1	1,257.0	

(d)=(a)+(b)+(c) , (f)=(e)+(b)+(c)

(2) 償還損益・評価損益の内容

①為替要因 +33.4百万円

～¥/US\$レート 2022/3末@122.39→2023/3末@133.53、@11.14円の円安

②価格要因 ▲26.5百万円

・金利要因：日米での金利上昇(米国債10年の金利は過去1年間で1.128%上昇、日本国債10年の金利は過去1年間で0.115%上昇)により債券価格が低下した⇒概算で価格への影響は▲16.7百万円程度と想定される

・信用リスク要因：2023/3の米銀破綻・クレディスイス問題により金融機関への見方が厳しくなり市場のセンチメントも悪化した⇒価格要因全体から金利要因概算額を控除した▲9.8百万円程度が信用リスク要因と想定される。

(3) 資産内訳(単位百万円、数値毎に小数点以下第2位・万円の位を四捨五入/各年度決算値、期末評価後)

		2022年3月		2023年3月	
		残高	%	残高	%
債券	外貨建	366.3	29.3	378.4	30.1
	円建	599.2	47.9	694.0	55.2
現金預金		284.6	22.8	184.6	14.7
資産計		1,250.1	100.0	1,257.0	100.0

2023/3末債券残高1,072百万円については、各銘柄の、リスク・パーティーの格付は全て資産運用規程の基準を充足しており、保有債券の信用リスクに現時点では著変無し。

以上